

取扱説明書

用途

●作業場、その他の一般清掃

電動工具でのコンクリートや木材などの研削、切断、穴あけ作業時に発生する乾いた細かい粉じんの集じん（水は吸引不可）

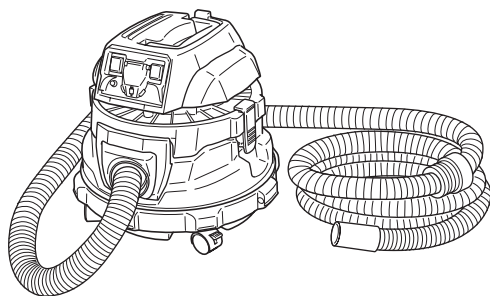
日立工機 電動工具用集じん機

7～12 L RP 35RYD2 25 L RP 35YD2
12 L RP 35MYD2 32 L RP 35YA2

このたびは日立電動工具用集じん機をお買い上げいただき、ありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



RP 35RYD2

集じん機の安全上のご注意	1
本製品の使用上のご注意	3
各部の名称	5
仕様	7
標準付属品	8
別売部品	9

はじめに

ご使用前の準備・点検	13
ポリ袋の取付け	15
フィルタの取付け・確認	17
ホース（床用吸口他）の接続	18
電動工具との接続	19
連動用コンセント	21
容量可変伸縮式タンク	22
集じんする	23
粉じんを捨てる	25
紙フィルタ（別売部品）の取付け	26

使い方

運搬・収納	27
保守・点検	28
ご修理のときは	裏表紙

その他

⚠警告、**⚠注意**、**注** の意味について

ご使用上の注意事項は「**⚠ 警告**」、「**⚠ 注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「**⚠ 注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

集じん機の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠ 警告

- ① 作業場は、いつもきれいに保ってください。**
 - ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② 作業場の周囲状況も考慮してください。**
 - 作業場は十分に明るくしてください。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- ③ 使用電源は、銘板に表示してある電圧・周波数で使用してください。**
 - 表示以外の電源を使用すると、火災・感電や故障の原因になります。
- ④ 子供を近づけないでください。**
 - 作業員以外、集じん機やコードに触れさせないでください。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
- ⑤ 作業に合った集じん機を使用してください。**
 - 指定された用途以外に使用しないでください。
- ⑥ コードを乱暴に扱わないでください。**
 - コードを持って集じん機を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
また、重い物を載せたり、挟み込んだりしないでください。

⚠ 警告

⑦ 集じん機は、注意深く手入れをしてください。

- 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
- 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。

⑧ 次の場合は、集じん機のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 使用しない、または修理する場合。
- ホース、フィルタなどの付属品を交換する場合。
- その他、危険が予想される場合。

⑨ 不意な始動は避けてください。

- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- 電源プラグをコンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

⑩ 油断しないで十分注意して作業してください。

- 集じん機を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 集じん機から離れて作業する場合は、集じん機の運転状況（異常音、粉じん吹出し、発煙など）に十分注意しながら作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れているときは、使用しないでください。

⑪ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない集じん機は、使用しないでください。

⑫ 集じん機の修理は、専門店に依頼してください。

- この集じん機は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにお申し付けください。
ご自身で修理すると、事故やけがの原因になります。

本製品の使用上のご注意

先に集じん機として共通の注意事項を述べましたが、電動工具用集じん機として、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

警告

- ① **必ずアース(接地)してください。**
 - 故障や漏電のとき、感電の恐れがあります。(詳細はP13「アース(接地)、漏電しゃ断器の確認」をご参照ください。)
- ② **連動コンセントに接続できる電動工具の消費電力は強運転時 100 ～ 285 W、弱運転時 100 ～ 665 W までです。**
 - 上記を超える消費電力の電動工具を連動コンセントに接続して使用すると、定格以上の電流が流れ、連動回路や電源プラグなどの故障やけがの原因になります。
- ③ **定格 15 A 以上のコンセントを単独で使用してください。**
 - 他の器具と併用すると、異常発熱による火災の原因になります。
- ④ **以下のものは吸込まないでください。**
 - 金属の研削、切断作業時に発生する火花。
 - 火のついた、たばこの吸いがらなど高温の物。
 - 引火性物質(ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油、塗料など)、爆発性物質(ニトログリセリンなど)、発火性物質(アルミニウム、亜鉛、マグネシウム、チタン、赤リン、黄リン、セルロイドなど)。
 - 釘、カミソリの刃など鋭利な物。
 - 木片、金属、石、ひもなど。
 - セメント粉・トナーなど固化するものや、金属粉・カーボン粉など導電性の微粉じん。
 - 油、熱湯、薬液、洗剤など発泡性のある液体。
 - 水、油などの液体。

火災やけがの原因になります。
- ⑤ **フィルタは正しくセットして使用してください。**
 - フィルタをはずしたまま使用したり、セット位置を誤ったまま使用したり、破れたフィルタを使用したりしないでください。
 - モーター故障などの原因になります。
- ⑥ **機体や電源プラグ、連動コンセントに水や油などをかけたりしないでください。**
 - この機体は防水構造ではないため、感電や故障の原因になります。
- ⑦ **機体の吸込口・吸気口・排気口をふさいだ状態で使用しないでください。**
 - モーターの温度が異常に上昇し、部品の変形や、モーター故障などの原因になります。

⚠ 警告

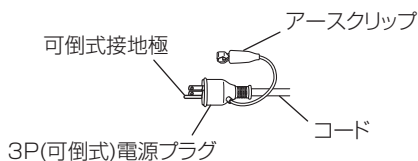
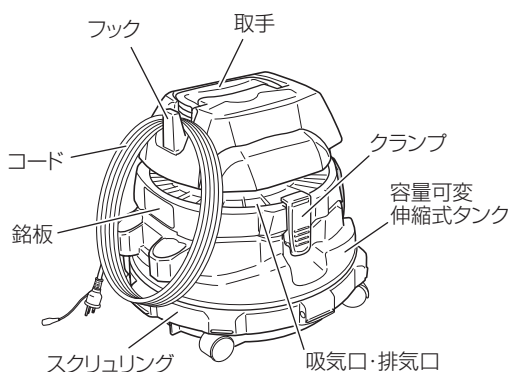
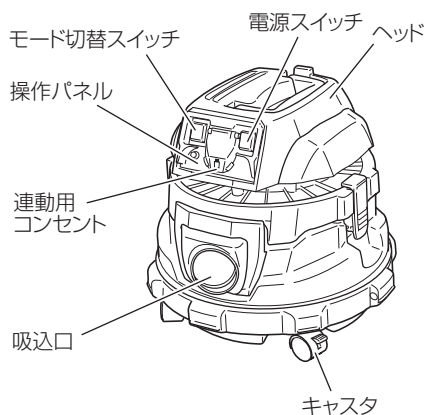
- ⑧ ホース、吸口などに異物が詰まったまま運転しないでください。
- モーターの温度が異常に上昇し、部品の変形や、モーター故障などの原因になります。
- ⑨ 機体を倒したり、横倒しの状態で使用しないでください。
- 感電や故障の原因になります。
- ⑩ 転倒などによる機体の変形、破損防止のため、機体は静かに移動してください。
- 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- ⑪ 誤って落としたり、ぶつけたときは、機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
- 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- ⑫ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
- そのまま使用していると、けがの原因になります。
- ⑬ 延長コードを使用するときは、アース線を備えた3心キャブタイヤケーブルを使用してください。
- アース線のない2心コードですと、感電の原因になります。
- ⑭ この機体は屋内用です。決して屋外で使用しないでください。
- 絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

○ 騒音防止規制について

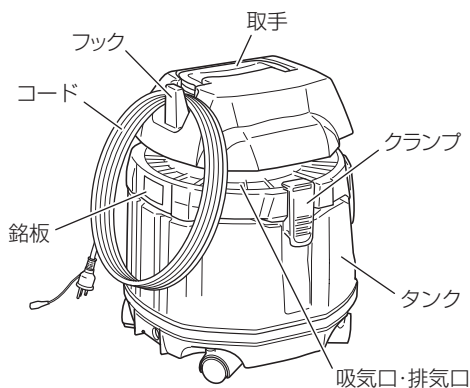
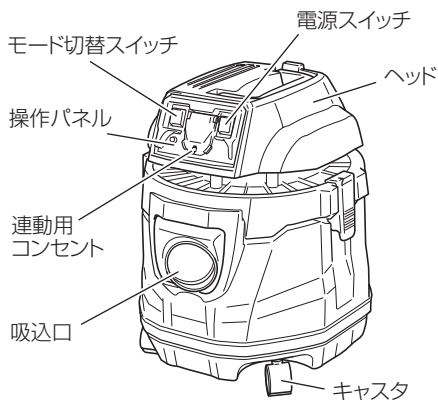
騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

各部の名称

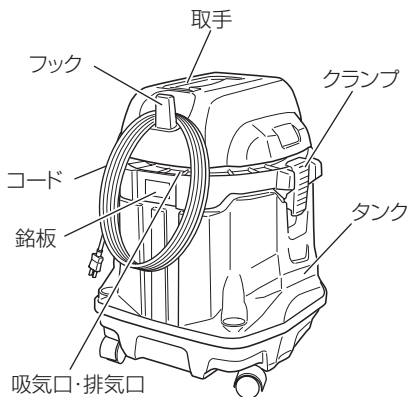
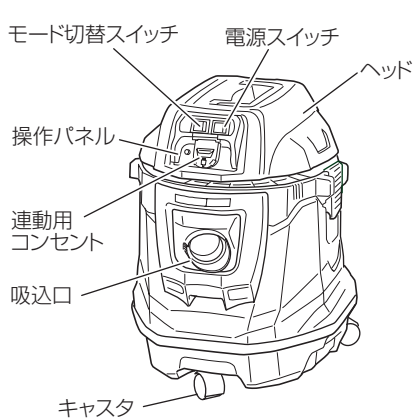
【RP35RYD2】



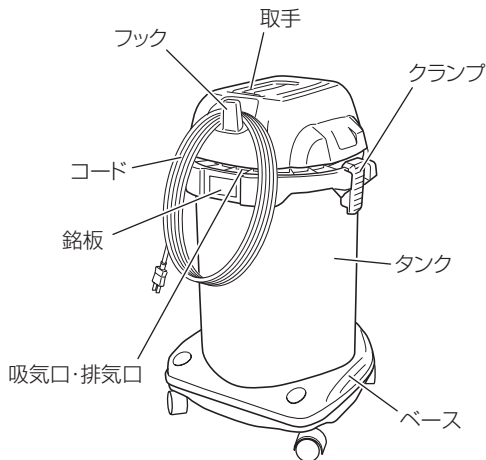
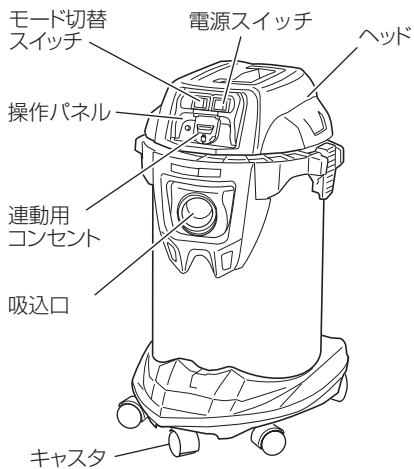
【RP35MYD2】



【RP35YD2】



【RP35YA2】

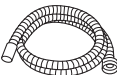
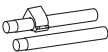
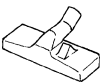
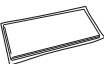


仕 様

形 名	RP 35RYD2	RP 35MYD2	RP 35YD2	RP 35YA2	
使 用 電 源	単相交流 50 / 60Hz 共用 電圧 100 V				
モ ー タ ー	単相直巻整流子モーター				
用 途	乾式専用				
集 じ ん 容 量	7 ～ 12 L	12 L	25 L	32 L	
電 流	強 12 A 弱 8 A				
消 費 電 力	強 1,140 W 弱 760 W				
連動用コンセント	強 100 W ～ 285 W 弱 100 W ～ 665 W (接続出来る電動工具の消費電力)				
最 大 風 量	強 3.5 m³/min 弱 2.8 m³/min				
最 大 真 空 度	強 25.5 kPa{ 2,600 mm水柱} 弱 16.3 kPa{ 1,660 mm水柱}				
フィルタの種類	粉じん用フィルタ (プレフィルタ付)				
外 径 寸 法	幅	415 mm	335 mm	415 mm	400 mm
	高さ	365 ～ 415 mm	420 mm	545 mm	710 mm
	奥行	415 mm	360 mm	435 mm	460 mm
質 量 ※	8.0 kg	7.0 kg	9.6 kg	11.6 kg	
コ ー ド	アースクリップ付 3 心ケーブル 5 m				

※コード、標準付属品を除く

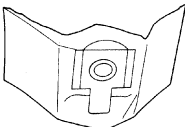
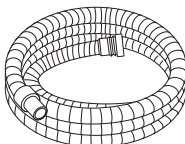
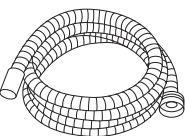
標準付属品

	個数	RP 35RYD2	RP 35MYD2	RP 35YD2	RP 35YA2
① ホース (内径φ 38 ×長さ 2 m) (一般清掃用) 	1 本	○	○	○	○
② ホース (内径φ 25 ×長さ 3 m) (電動工具との接続用) 	1 本	○	○	○	○
③ 延長管 	2 本	○	○	○	○
④ ホース接続ハンドル 	1 本	○	○	○	○
⑤ 床用吸口 	1 個	○	○	○	○
⑥ すきま用吸口 	1 個	○	○	○	○
⑦ D 25 アダプタ (M38 用) (マキタ電動工具との接続用) 	1 個	○	○	○	○
⑧ D 25 アダプタ (M26 用) (マキタ電動工具との接続用) 	1 個	○	○	○	○
⑨ ポリホルダ 	1 個	×	×	○	○
⑩ ポリ袋 (530 mm × 600 mm)(10 枚入) 	1 個	○	○	×	×
⑪ ポリ袋 (800 mm × 650 mm)(10 枚入) 	1 個	×	×	○	○
⑫ ホースバンド 	5 個	○	○	○	×

別売部品 (別売部品は生産を打ち切ることがありますので、ご了承ください。)

詳しくは、お買い求めの販売店、または日立工機の全国営業拠点(裏表紙参照)にお問い合わせください。

(1) フィルタ・ホースなど

部 品 名	用 途
紙フィルタ (5 枚入り) 	紙フィルタごと捨てることで、清潔にごみ捨てができます。水は吸引できません。紙フィルタ使用時は、プレフィルタまたは粉じん用フィルタを併用してください。
ホース (内径φ 38 ×長さ 5 m) 	内径が太いため、作業場、その他の一般清掃するとき使用します。電動工具と接続しても使用できます。
ホース (内径φ 25 ×長さ 5 m) 	内径が細く 5 m と長いため、電動工具と接続して使用するとき使用します。
ホースカバーセット 	ホースと電動工具のコードを包み込み、物に引っ掛かりにくくします。
ホースバンド (ゴム製) (5 個入り) 	ホース (内径φ 25) と電動工具のコードを束ねて、物に引っ掛かりにくくします。
ホースバンド (呼径: φ 38、φ 60、φ 75) 	集じんアダプタを使用する場合、機体のアダプタと接続するため使用します。

(2) 集じんアダプタ・ジョイント

⚠ 警告

- ・表中の適用形名で下記の消費電力を超える電動工具は、本機の連動用コンセントに接続しないでください。定格以上の電流が流れ、連動回路や電源プラグなどの故障やけがの原因になります。また、この機体の電源プラグを接続しているコンセントとは別のコンセントに接続してください。
この機体を「強」運転する場合…電動工具の消費電力 100 ～ 285 W まで
この機体を「弱」運転する場合…電動工具の消費電力 100 ～ 665 W まで
- ・火花を発生する作業の集じんはできません。

適用機種

別売部品

集じんアダプタ

電動工具用集じん機標準付属品

接続アダプタ・ジョイント

ホース

集じん丸のこ

C 4YC C 5YB2
C 3Y C 4YB
C 5YA C 5YB
C 5YC C 6Y1
C 8Y

集じんアダプタ不用

集じん丸のこ

C 4YA2



セット品〔 〕含む

アダプタ
ホースバンド
アダプタ



C 4YA2

C 4YA1



(L字形)

リフォーム用丸のこ、丸のこ

C 5MR
C 5UB



集じんアダプタセット

深切り丸のこ、丸のこ

C 5MBY C 5UBY
C 6MBY C 6UBY
C 5MBYA C 5MVYA
C 6MBYA C 6MVYA
C 6MB4 C 6UB4
C 7MB4 C 7UB4
C 6MV3 C 6UV3
C 7MV3 C 7UV3
C 6SS C 7SS



深切り電子丸のこ

深切り電子造作丸のこ

C 5MVY C 6MVY
C 5UVY C 6UVY

コードレス丸のこ

C 18DMR C 18DSL2
C 18DSL



コードレス丸のこ

C 14DSL2



ジグソー

CJ 65VC CJ 65TC
CJ 65SC CJ 70V
CJ 55 CJ 55VA
CJ 65VE



CJ 90VST CJ 120
CJ 120V CJ 110M
CJ 110MV CJ 14DSL
CJ 18DSL



ジグソー

CJ 65SF CJ 65VF

集じんアダプタ不用

サンダ

SV 12SD



ミニサンダ・ベルトサンダ

SV 12SG SV 12SH
SV 13YB
SB 8V2 SB 10V2

集じんアダプタ不用

コードレスチップソーカッタ

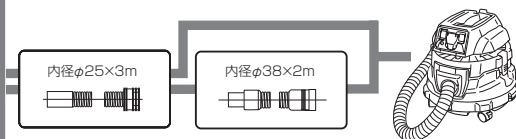
CD 12D CD 14DSL2

集じんアダプタ不用

コードレス集じん丸のこ

C 14DYSL2

集じんアダプタ不用



はじめに

適用機種

別売部品

集じんアダプタ

電動工具用集じん機標準付属品

接続アダプタ・ジョイント

ホース

卓上丸のこ、ベンチ丸のこ、
テーブル丸のこ

C 7RSHC	C 7RSC
C 8FSE	C 6RSHC
C 6RSH	C 6RSB
C 7RSH	C 7RSB
C 7FSB2	C 7FSH2
C 7FSB	C 7FSH
C 8FB2	C 8FSB
C 8FSH	C 8FC
C 10FSH	
C 12LDH	C 12LCH
C 12FSA	C 12RSH
C 15FB	C 10FD3

(ホースバンド付)



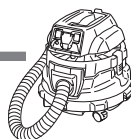
C 15FC C 10FE

(ホースバンド付)

ジョイント
(別売)

内径φ25×3m

内径φ38×2m



カッタ

CM 4Y2
CM 4YA
CM 5YA

ディスクサンダ

S 10SA3

100mm・125mm
ディスクグラインダ
(ダイヤモンドカッター使用時)

G 10SL4	G 10SP4
G 10SM3	PDA-100H
PDH-100H	G 10SB1
G 10MH	G 10ML
G 10B2	G 14DSL
G 18DSL	

(カップタイヤ用)



G 13SP	G 13S4
G 13VH	G 13YH2
G 13SH4	G 13SM3



振動ドリル

DV 21V
VTP-25

ハンマドリル

PR-25B	PR-38E
	DH 35
DH 40SR	DH 40MRY

ドリルビット専用
(錐径11~22mm
長さ280mmまで)

ロータリーハンマドリル

DH 25PB

ドリルビット専用
(錐径5~18mm
長さ209mmまで)

カッタ

CM 6 CM 11

集じんアダプタ不用

コードレスステップソー切断機
CD 14DFL

集じんアダプタ不用

適用機種

別売部品

集じんアダプタ

電動工具用集じん機標準付属品

接続アダプタ・ジョイント

ホース

ルータ

M 8SA2 M 8V2
M 12VE M 12SE
M 12BA



ルータ

M 12SA2
M 12V2



かんな

P 20



小穴カッタ

PG 21BA
(φ31ホース使用不可)



125・150・180mm

ディスクグラインダ

(ダイヤモンドカッター使用時)

G 13SP G 13S4
G 13SH4 G 13SM3
G 13VH G 13YH2

G 15SP

G 15YE

G 18SH G 18YB
PDH-180C G 18SP

ホイールガードベースセットと
合わせてご使用下さい。

ホイールガードベースセット

集じんアダプタ



125mm用

180mm用

G18SP用



ロータリハンマドリル 振動ドリル

DH 18PB DH 18PH
DH 18MB DH 15DV
DH 20DV DH 24DV
DH 24DVA DH 25DAL
DH 36DAL DH 22PB
DH 24PB3 DH 24PC3
DH 24PF3 DH 24PM
DH 14DSL DV 18VA
DV 20VE DV 20VB2
DV 10V DV 12V
DV 16V DH 18DSL



ロータリハンマドリル

DH 24PD3

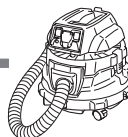
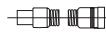
アダプタ(A)



アダプタ
(別売)



内径φ38×2m



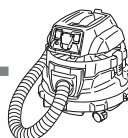
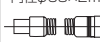
ジョイント
(別売)



内径φ25×3m



内径φ38×2m



はじめに

ご使用前の準備・点検

●アース(接地)、漏電しゃ断器の設置

⚠ 警告

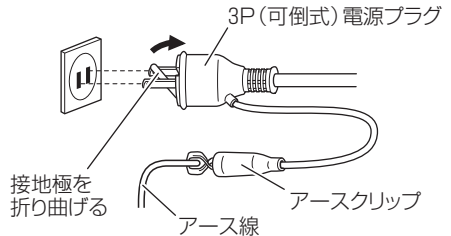
アース線をガス管に取付けると爆発の恐れがあるので、絶対に取付けないでください。

ご使用にさきだち、電源に労働安全衛生規則や電気設備の技術基準などに規定された感電防止用漏電しゃ断装置(以下、漏電しゃ断器と言います)が設置されていることを確認してください。

- 注**・プラグのアースクリップや接地極、アース線は、異常のないことを確認してからご使用ください。
- テスターや絶縁抵抗計などをお持ちでしたら、プラグの接地極またはアースクリップと機体の金属外枠との間の導通を確認してください。
- ・地中に接地極(アース板、アース棒)を埋め、アース線を接続するなどの接地工事は、電気工事士の資格が必要です。お近くの電気工事店にご相談ください。

アースクリップ付3P(可倒式)電源プラグはアース付(3ピン)コンセントに直接さし込むことでアースクリップによりアースは不要です。

アース極のない2極コンセントに接続するときは、右図のように接地極を折り曲げてコンセントにさし込み、アースクリップをアース線に接続してください。



●延長コードを使う場合

電気が流れるのに十分な太さのできるだけ短いコードをご使用ください。

右表は使用できるコードの太さ（導体公称断面積）と、最大の長さです。

必ずアース（接地）できる接地用の1心をもつ3心キャブタイヤケーブルをお使いください。

⚠ 警告

延長コードは損傷のないものを用意してください。

コードの太さ (mm ²)	最大の長さ (m)
3.5	15
5.5	25

●使用電源の確認

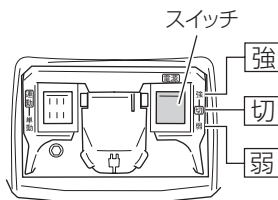
必ず銘板に表示してある電圧でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転数が異常に速くなり、機体が破損する恐れがあります。

また、直流電源、エンジン発電機、昇圧器などのトランス類で使用しないでください。製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

●スイッチ「切」の確認

スイッチが入っているのを知らずに電源プラグをコンセントにさし込むと、不意に機体が起動し、思わぬ事故のもとになります。

スイッチは、「強」側または「弱」側を押すと入り、「切」に戻すと切れますので、スイッチが「切」になっていることを必ず確認してください。



●コンセントの確認

電源プラグをさし込んだとき、コンセントがガタガタだったり、電源プラグがすぐ抜けるようでしたら修理が必要です。

お近くの電気工事店などにご相談ください。そのままお使いになりますと、過熱して事故の原因になります。

ポリ袋の取付け (ポリ袋なしでもご使用できます)

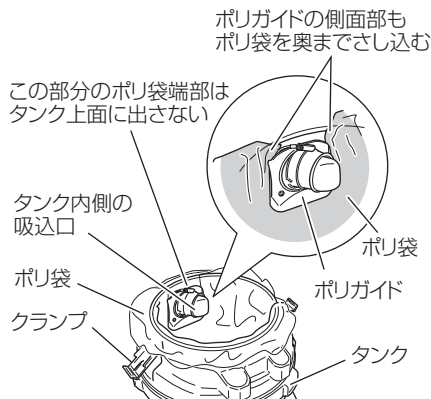
RP 35 RYD2、RP 35 MYD2 の場合

- 1 クランプ (2 個) をはずし、取手 (P 5「各部の名称」参照) を持ってヘッドを引き上げ、タンクから取りはずします。
次に、タンク内の粉じん用フィルタとプレフィルタを取りはずしてください。

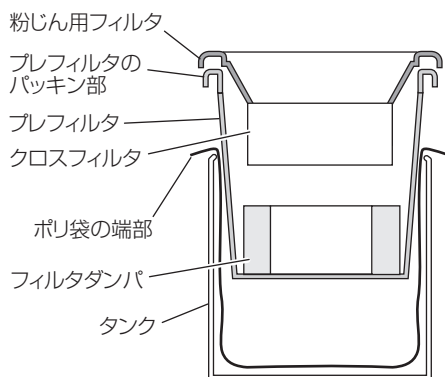
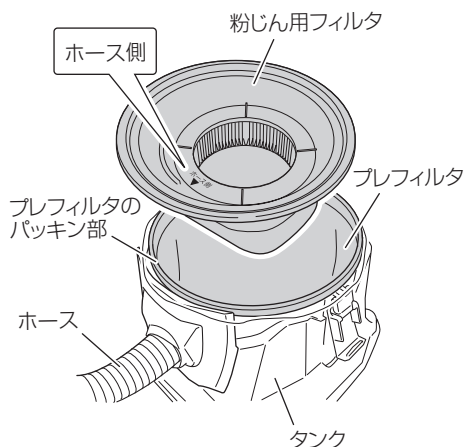
- 2 タンク内側とポリガイドの間に付属のポリ袋をさし込みます。
まず下側にさし込み、次に側面の順にさし込んでください。

- 3 ポリ袋をタンクの内面に沿って広げた後、ポリ袋の端部をタンクの外に引き出します。
まず、プレフィルタのパッキン部がポリ袋をしっかりとはさみ込むようプレフィルタを取付けてください。
次にホース側の表示に方向を合わせて、粉じん用フィルタを入れます。
(P 17「フィルタの取付け・確認」参照)

- 注**・市販品のポリ袋は、20 L (幅 600 mm × 深さ 600 mm) が使用可能です。
ただし厚さ 0.04 mm 以上のものをご使用ください。
- ・ポリ袋には粉じんをためすぎないでください。
ポリ袋が破れる原因になります。
 - ・吸込口部のポリ袋の端部は、タンク上面から出さないでください (上図参照)。
タンク上面からポリ袋の端部を全て出すと、吸込口がふさがれ、集じんできません。



RP 35 RYD2



RP 35 YD2、RP 35 YA2の場合

- 1 クランプ(2個)をはずし、取手(P 6「各部の名称」参照)を持ってヘッドを引き上げ、タンクから取りはずします。

次に、タンク内の粉じん用フィルタとプレフィルタを取りはずしてください。

- 2 タンク内側の吸込口にポリ袋の穴を合わせ、穴を広げながらさし込みます。

- 3 右図のように両端を折り曲げたポリホルダを吸込口にさし込み、抜け止めします。

このとき、吸込口の抜け止め突起の奥側まで押込みます。

- 4 ポリ袋をタンクの内面に沿って広げた後、ポリ袋の端部をタンクの外に引き出します。

まず、プレフィルタのパッキン部がポリ袋をしっかりとさみ込むようプレフィルタを取付けてください。次にホース側の表示に方向を合わせて、粉じん用フィルタを入れます。(P17「フィルタの取付け・確認」参照)

- 注**・市販品のポリ袋は、45 L (幅 800 mm × 深さ 650 mm) が使用可能です。ただし厚さ 0.04 mm 以上のものをご使用ください。

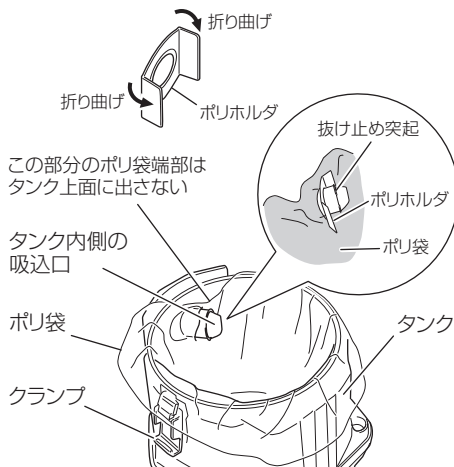
市販品の場合は、右図のように切り込みを入れてから使用してください。

- ポリ袋には粉じんをためすぎないでください。

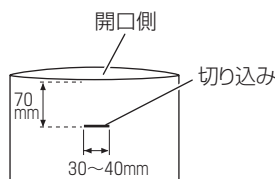
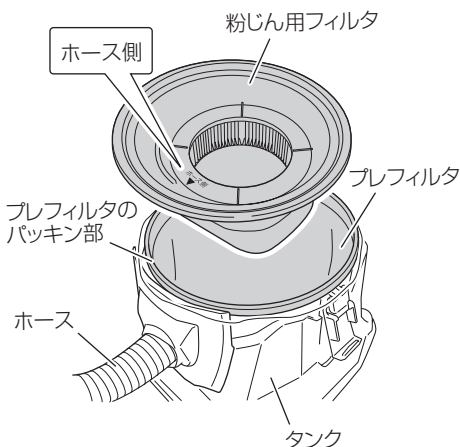
ポリ袋が破れる原因になります。

- 吸込口部のポリ袋の端部は、タンク上面から出さないでください(上図参照)。

タンク上面からポリ袋の端部を全て出すと、吸込口がふさがれ、集じんできません。



RP 35 YD2

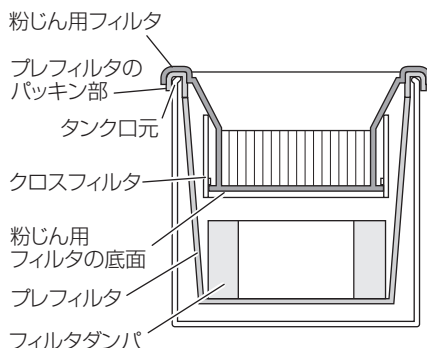


フィルタの取付け・確認

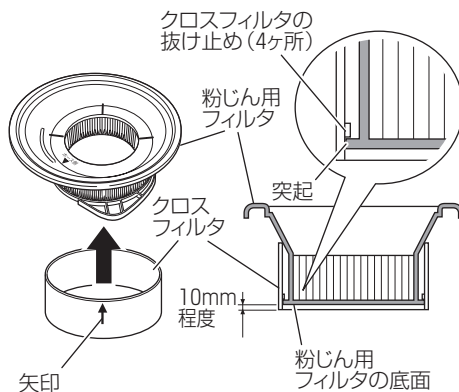
⚠ 警告

フィルタ（プレフィルタと粉じん用フィルタ）は、必ず取付けてください。
モーター損傷の原因になります。

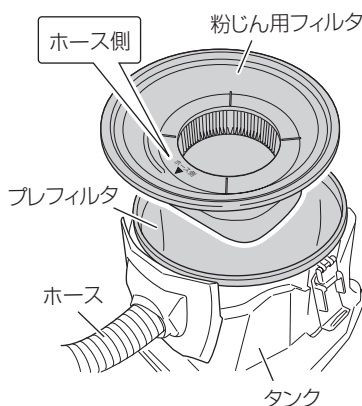
- 1 プレフィルタのパッキン部がタンク口元にかかっていることを確認してください。
次にプレフィルタ底にフィルタダンパを入れてください。



- 2 粉じん用フィルタにクロスフィルタを表示された矢印方向からさし込み、クロスフィルタの端部が粉じん用フィルタの底面より 10 mm 程度出るように取付けてください。
このとき、クロスフィルタの抜け止めが粉じん用フィルタの底面の突起の上に位置していることを確認してください。



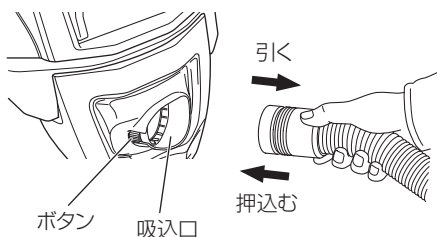
- 3 ホース側の表示に方向を合わせて、粉じん用フィルタを入れます。



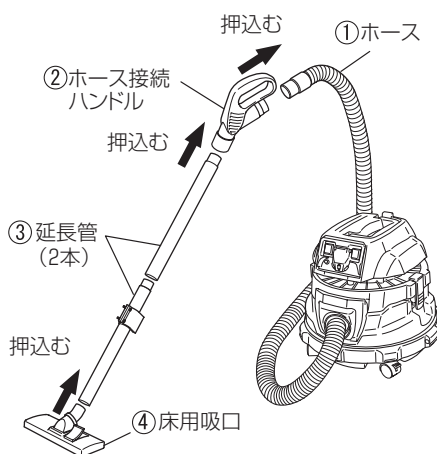
ホース(床用吸口他)の接続

掃除機として一般清掃作業する場合は、付属のホース接続ハンドル、延長管、床用吸口等をホースに接続してご使用ください。

- 1** 付属のホース(内径 $\phi 38$ ×長さ2 m)をタンクの吸込口に「カチッ」と音がするまで押込み、接続します。ホースを取りはずす場合は、吸込口のボタンを押しながらホースを引いてはずしてください。



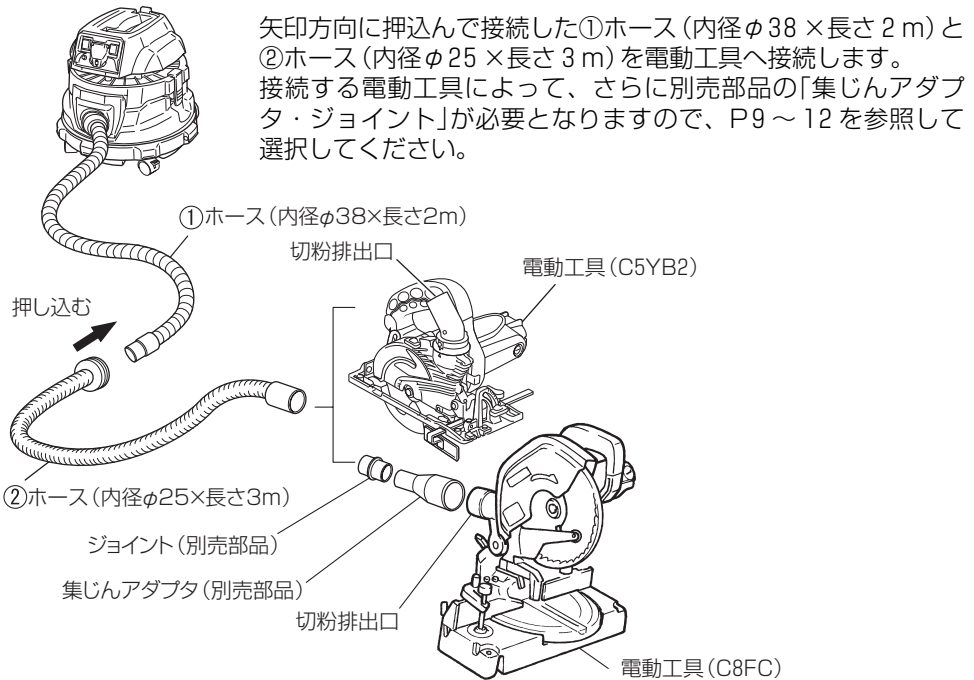
- 2** ①ホース(内径 $\phi 38$ ×長さ2 m)
②ホース接続ハンドル
③延長管
④床用吸口
の順に、矢印方向に押込んで接続します。
用途に応じて、すき間用吸口を取付けることもできます。



電動工具との接続

⚠ 警告

- 下記の消費電力を超える電動工具は、本機の連動用コンセントに接続しないでください。定格以上の電流が流れ、連動回路や電源プラグなどの故障やけがの原因になります。また、この機体の電源プラグを接続しているコンセントとは別のコンセントに接続してください。
この機体を「強」運転する場合…電動工具の消費電力 100 ～ 285 Wまで
この機体を「弱」運転する場合…電動工具の消費電力 100 ～ 665 Wまで
- 火花を発生する作業の集じんはできません。



●ホースバンドの取付け(RP 35RYD2、RP 35MYD2、RP 35YD2のみ)

電動工具と接続して使用する場合は、ホースとコード(電動工具用)がからまないよう、付属のホースバンド(5個付)で固定してください。
約1mの間隔で結束してください。



●マキタ製電動工具との接続

マキタ製電動工具と本機を接続する「D25 アダプタ (2 種類)」を標準付属していますので、接続方法と適用機種について、下表を確認のうえご使用ください。

適 用 機 種

別売部品

電動工具用集じん機標準付属品

マキタ製電動工具

防じん丸のこ		
KS4000FX	KS5000FX	KS4100F
KS5100F	KS521DRF	KS520DRJ
5034FKB	5044KB	5055FKB
5045KB	5047KB	
充電式防じん丸のこ		
	5036D	5026D
防じんカッタ		
		4123KB
電子コンクリートカンナ		
		PC5001C
集じんカバー付きディスクサンダ		
ホイールサンダ	9740	9533BSK
		9741
スライド丸のこ		
LS0712	LS0612FL	LS0611FL
LS0716FL	LS0814FL	LS0715FL
LS1014	LS1213	
卓上丸のこ		
	LS1040F	LS0840F
	LS0840FL	LS1510
丸のこ盤		
		2701N (P)
スライド丸のこ盤		
		LT610
パネルソー		
		LT600
電子バンドソー		
		2114C

集じんアダプタ不用

マキタ製電動工具

防じん丸のこ		
5205FX	KS5200FX	
内装丸のこ		
5240L	5241	
内装直角丸のこ		
	5210L	
丸のこ		
	5230	
隙切り丸のこ		
	5840BA	
充電式丸のこ		
	SS5400	
充電式防じん丸のこ		
KS520D	KS521D	
ジグソー		
4327	4329	
ジョイントカッタ		
	3901	
コンクリートカンナ		
	PC9003	
ベルトサンダ		
9031	9911	9403
	9404	9903
仕上げサンダ		
BO3710	BO4900V	
防じんミニサンダ		
BO4555	BO4565	
ランダムオービットサンダ		
BO5030	BO5041	BO5021
オービタルサンダ		
		9046
防じんボードリマ		
ルータ		3706BSK
		RP0910

集じんアダプタ不用

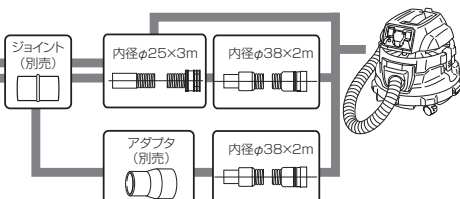
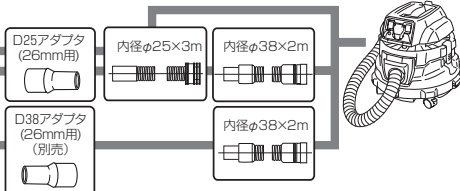
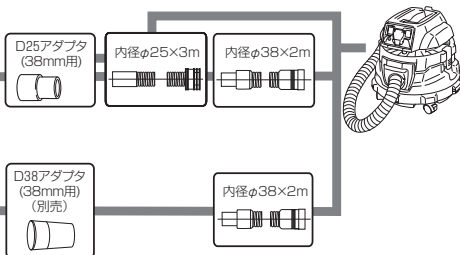
他社電動工具

接続口径φ20、φ26製品
(マキタ製) ハンマドリル他



マキタ製電動工具 (接続口径φ36、φ45製品)

防じん丸のこ		
KS4000FX	KS5000FX	KS4100F
KS5100F	KS521DRF	KS520DRJ
5034FKB	5044KB	5055FKB
5045KB	5047KB	
充電式防じん丸のこ		
	5036D	5026D
防じんカッタ		
		4123KB
電子コンクリートカンナ		
		PC5001C
集じんカバー付きディスクサンダ		
ホイールサンダ	9740	9533BSK
		9741
スライド丸のこ		
LS0712	LS0612FL	LS0611FL
LS0716FL	LS0814FL	LS0715FL
LS1014	LS1213	
卓上丸のこ		
	LS1040F	LS0840F
	LS0840FL	LS1510
丸のこ盤		
		2701N (P)
スライド丸のこ盤		
		LT610
パネルソー		
		LT600
電子バンドソー		
		2114C



使
い
方

連動用コンセント

⚠ 警告

- 連動用コンセントには、この機体のスイッチ、モード切替スイッチの位置にかかわらず、電圧がかかります。電動工具の電源プラグを連動用コンセントにさし込む場合、電動工具のスイッチが切れていることを確認してください。

電動工具のスイッチが入っているのを知らずに電源プラグを連動用コンセントにさし込むと不意に機体が起動し、思わぬ事故のもとになります。

- 下記の消費電力を超える電動工具は、本機の連動用コンセントに接続しないでください。定格以上の電流が流れ、連動回路や電源プラグなどの故障やけがの原因になります。また、この機体の電源プラグを接続しているコンセントとは別のコンセントに接続してください。

この機体を「強」運転する場合…電動工具の消費電力 100 ～ 285 Wまで

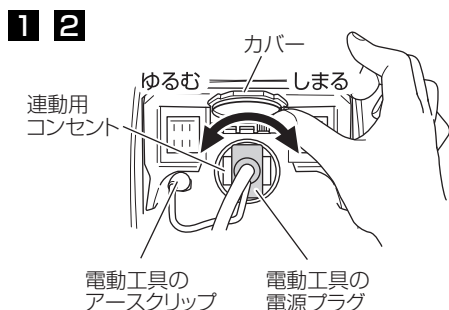
この機体を「弱」運転する場合…電動工具の消費電力 100 ～ 665 Wまで

- 電動工具がアースクリップ付 2 P 電源プラグの場合は、電動工具のアースクリップを必ずアース端子に接続してください。

アースクリップをアース端子に接続しないと感電の恐れがあります。

- 電源プラグに抜け止めがかかっている状態で、コードを引っ張らないでください。電源プラグを左に回し、抜け止めをはずしてから電源プラグを抜きとってください。

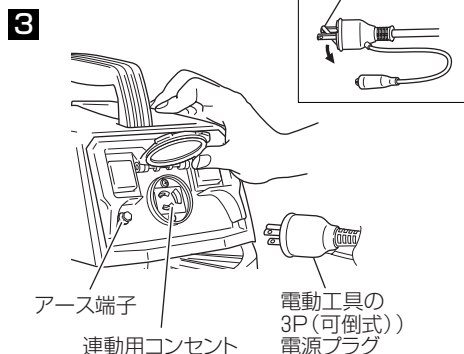
- 1 カバーを持ち上げ、電動工具の電源プラグを連動用コンセントにさし込み、右に回します。回らなくなったところで、電源プラグの抜け止めがかかります。電源プラグを抜く場合は、左に回してから引き抜いてください。



- 2 電動工具がアースクリップ付 2 P 電源プラグの場合は、電動工具のアースクリップを必ずアース端子に接続してください。

- 3 電動工具が 3 P (可倒式) 電源プラグの場合は、接地極端子を伸ばしてから連動用コンセントにさし込み、右に回してください。

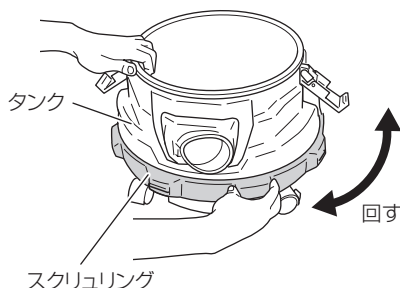
注 連動用コンセントに巻線トランスが組み込まれている製品を接続すると、機体が約 5 秒間連動しますが、故障ではありません。



容量可変伸縮式タンク (RP 35 RYD2 のみ)

スクリュリングでタンクを上方に伸ばしたり下方に縮めて、タンク高さを最大 50 mm まで伸縮できます。タンク容量は 7 L ~ 12 L (粉じんの場合) まで可変できます。

ヘッド部を取りはずして、スクリュリングを左右に回してタンクを伸縮します。上方から見て時計方向に回せばタンクが縮み、反時計方向に回せばタンクが伸びます。



注・タンクを縮める場合は、必ずタンク内に粉じんが無いことを確認してください。

スクリュリングの動作が重くなったり、破損する原因になります。

・タンクのねじ部は、ごみ等が溜まらないよう常に掃除してください。

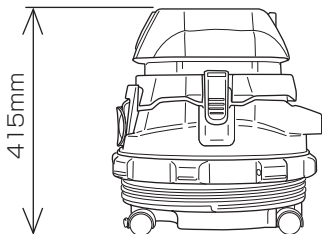
スクリュリングの動作が重くなったり、破損する原因になります。

・スクリュリングを回す場合は、必ずヘッド部を取りはずしてください。

スクリュリングの動作が重くなったり、破損する原因になります。

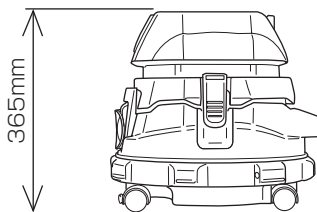
集じん作業時

タンクを上方に伸ばして大容量でご使用ください。タンク容量が大きいいためフィルタが目詰まりしにくくなり、吸込力を持続できます。



運搬・移動時

タンクを下方に縮めると機体がコンパクトになりますので、運搬・移動に便利です。



⚠ 警告

- プレフィルタと粉じん用フィルタは、必ず取付けてください。
モーター損傷の原因になります。
- ヘッド上面を踏み台にしたり、座ったりしないでください。
急に機体が動き出し、転倒するなど、けがの原因になります。
- 粉じんの多い作業では、防じんマスク、保護メガネを使用してください。

1

タンク容量を最大にする (RP 35RYD2 のみ)

スクリュリングを回してタンクを最大に伸ばします。
(P22「容量可変伸縮式タンク」参照)



2

ポリ袋を取付ける

必要に応じ、ポリ袋を取付けてください。
(P15「ポリ袋の取付け」参照)

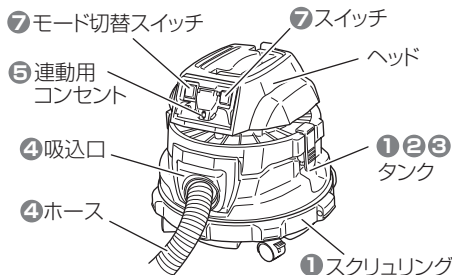
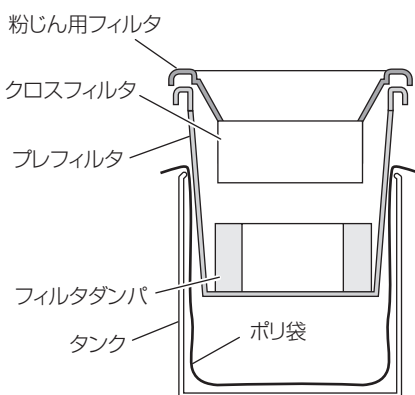


注 ホースの取扱いはていねいにしてください。ホースを無理に曲げたり、踏みつけたり、ホースを引っ張って集じん機を移動したりしないでください。また、ホースを折り曲げたまま収納しないでください。
ホースの変形などの原因になります。

3

フィルタを確認する

フィルタが正しく取付けてあることを確認します。
(P17「フィルタの取付け・確認」参照)



⚠ 警告

下記の消費電力を超える電動工具は、この機体の電源プラグを接続しているコンセントとは別のコンセントに接続してください。

この機体を「強」運転する場合… 電動工具の消費電力100～285 Wまで

この機体を「弱」運転する場合… 電動工具の消費電力100～665 Wまで

4

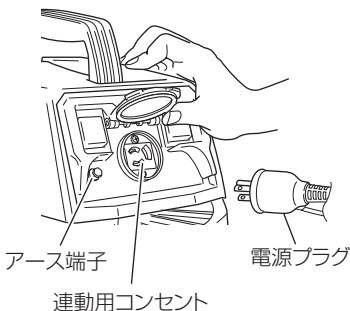
ホースを電動工具へ 接続する

- タンクの吸込口に、付属のホースを接続します。
(P18「ホースの接続」参照)
- 付属のアダプタと必要に応じて別売の集じんアダプタ・ジョイントで、ホースを電動工具へ接続します。
(P18「ホースの接続」参照)
(P19「電動工具との接続」参照)

5

連動用コンセントに 接続する

- 電動工具の電源プラグをさし込み、右に回して抜け止めをかけます。
- アースクリップ付2P電源プラグの場合は、アースクリップをアース端子に接続してください。
(P21「連動用コンセント」参照)



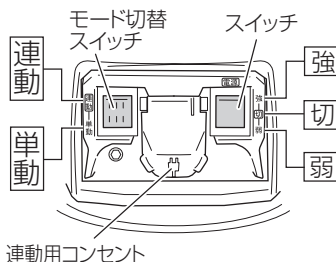
6

電源プラグを コンセントにさし込む

7

モードを選択し、 運転・停止する

- 「連動／単動」モードを選択します。
- 連動：電動工具のスイッチ操作により、選択した「強／弱」で本機が連動して運転・停止します。
- 単動：「強」を押して強運転、「弱」を押して弱運転、「切」に戻して運転を停止します。



注 「連動」モードのときは、ホース内の粉じんを吸込むため、電動工具のスイッチを切った後も機体は数秒間運転してから停止します。

粉じんを捨てる

⚠ 警告

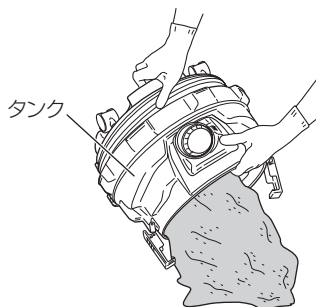
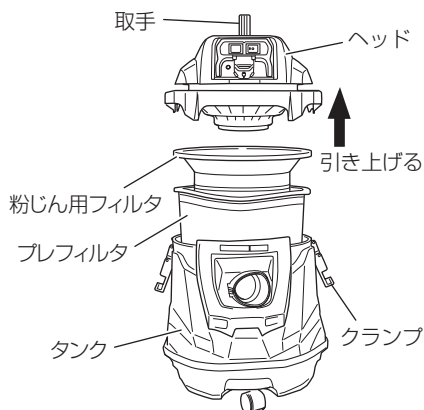
- 必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 粉じんが舞い上がることがありますので、防じんマスク、保護メガネを使用してください。

- 注** 粉じんのたまったポリ袋をタンクから取出すときは、タンク内の突起部に引っかけないようにポリ袋を取出してください。
- ポリ袋が破れる原因になります。
- ポリ袋には、粉じんをためすぎないでください。
 - ポリ袋が破れる原因になります。
 - ヘッドやタンクに付属品（延長管、吸口等）をさし込んだまま機体を倒さないでください。
- 各部の破損の原因になります。

- ① クランプ（2 個）をはずして、取手を上方へ引き上げ、ヘッドを取りはずします。
- ② 粉じん用フィルタを取出し後、プレフィルタの内側面を数回軽くたたいて、付着した粉じんを落とします。
次にタンクからプレフィルタを取出します。
- ③ タンクを倒し、粉じんを捨てます。
- ④ 粉じん用フィルタ、プレフィルタを取付けます。次に、ヘッド、クランプをもとの位置に取付けてください。
（P 15「ポリ袋の取付け」参照）
（P 17「フィルタの取付け・確認」参照）

⚠ 注意

- タンク、フィルタ、ヘッドに強い衝撃を与えないでください。
変形、破損の原因になります。
- 粉じんの吸込み量にもよりますが、タンク内の粉じんは毎日 1 回以上捨て、機体、フィルタなどを常に清潔に保ってください。
吸込力の低下やモーターの故障、悪臭発生やさびの原因になります。
- タンク内の粉じんを捨てるときは、クランプを持たないでください。
クランプが破損する原因になります。



紙フィルタ(別売部品)の取付け

⚠ 警告

- 必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - 紙フィルタを使用するときは、標準付属のプレフィルタ、粉じん用フィルタと併用してください。
- 万一、紙フィルタが破損したとき、モーターに粉じんが入り、異音や異常発熱による火災の原因になります。

- 1** スクリュリングを回し、タンクの高さを最大にします。
(RP 35RYD2のみ)
(P22「容量可変式タンク」参照)

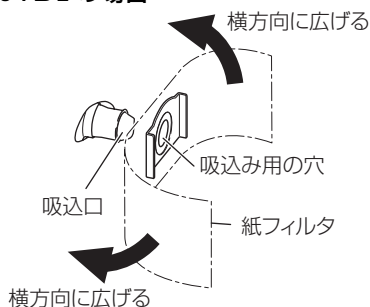
- 2** 紙フィルタの吸込用の穴がタンクの上側になるよう、紙フィルタを横方向に広げます。
(RP 35YA2の場合、紙フィルタを縦方向に広げます。)

- 3** 機体に装着する前に、ボール紙についている2カ所の折り目を矢印の方向へ約90°折り曲げます。

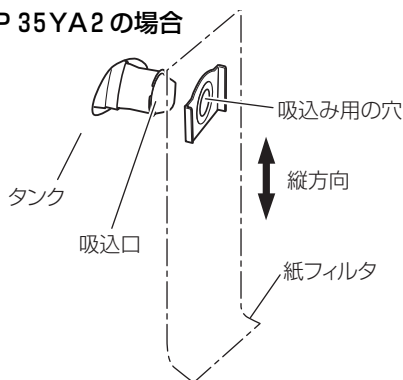
- 4** 紙フィルタの吸込み用の穴を機体の吸込口に合わせます。
図の矢印方向へ、紙フィルタのボール紙が吸込口にある抜け止め突起より奥側になるよう、しっかりとさし込んでください。

2

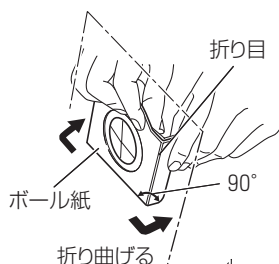
※RP 35RYD2、RP 35MYD2、
RP 35YD2の場合



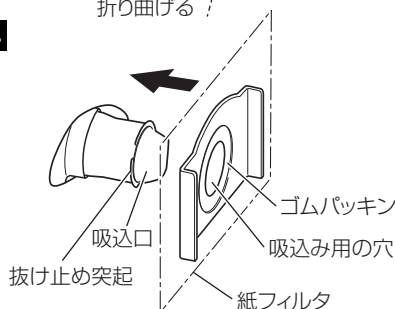
※RP 35YA2の場合



3



4

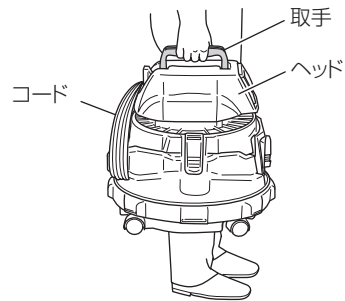


使
い
方

運搬・収納

●取手の使い方

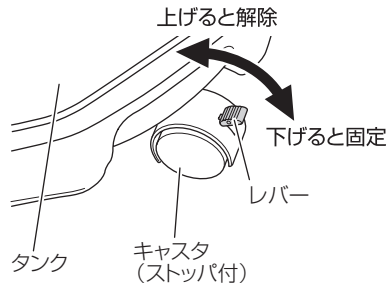
運搬・移動する場合は、右図のようにヘッド部の取手を持って行ないます。取手を使用しない場合は、ヘッド部に収納しておいてください。



●キャストの固定・解除

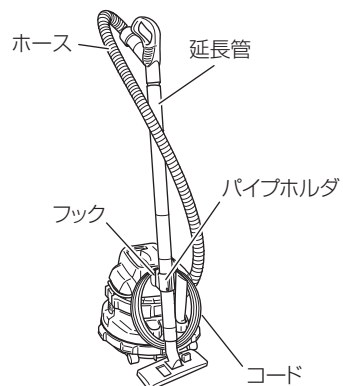
キャスト(ストッパ付)のレバーを下げると車輪の回転が固定されます。車輪の固定を解除する場合は、レバーを上げます。機体を収納しておく場合、あるいは掃除の途中で作業を中断する場合、キャストを固定すると機体の動き止めができて便利です。

注 機体を移動する場合は、キャストの固定が解除されていることを確認してください。
キャストの破損の原因になります。



●機体を収納する

掃除の途中で作業を中断したいときは、延長管のパイプホルダをフックに引掛けてください。
また、コードを束ねてフックに引掛けることができます。



⚠ 警告

- 点検・手入れの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ぬれた手で作業しないでください。
感電やけがの原因になります。
- 粉じんが舞い上がることがありますので、防じんマスク、保護メガネを使用してください。

●フィルタの手入れ

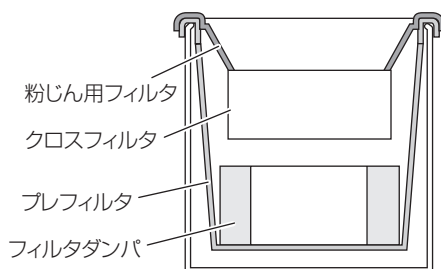
粉じん用フィルタ、プレフィルタ、クロスフィルタ、フィルタダンパが目詰まりすると、吸込み力が著しく低下しますので、付着した粉じんは、こまめに取除いてください。

①ちり落としは、プレフィルタ、クロスフィルタ、フィルタダンパを手で軽くたたきます。圧縮空気を吹きかけると簡単に行えます。

②粉じん用フィルタはブラッシングや圧縮空気を吹きかけて清掃をします。

粉じん用フィルタは定期的（1～2ヶ月に1回以上）に水洗いによる清掃を行い粉じん除去してください。

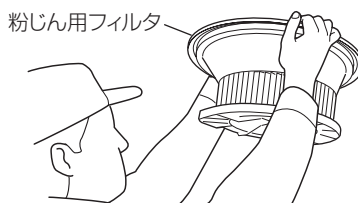
なお、水洗い後は、陰干しして十分乾燥させてから使用してください。



ブラシ等により、粉じんをかき落としてください。



水を流し、粉じんを洗い落としてください。



注 ●各フィルタは消耗品ですので、予備品を準備することをお勧めします。

●各フィルタは定期的に点検し、破れ、穴がある場合は、交換してください。そのまま使用すると、機体損傷の原因になります。

●プレフィルタは、目詰まりがひどい場合でも軽くたたき程度にしてください。ブラシで強くこすったりすると寿命が短くなります。

●粉じん用フィルタは、たたきつけたりしないでください。樹脂部が割れる原因になります。

●本体はきれいに

石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。

ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類は変形の原因になるので使用しないでください。

●取付ねじの点検

時々点検して、ゆるんでいたら、締め直してください。

そのまま使用すると危険です。

●モーター部の取扱について

モーター部の巻線は機体の重要な部分です。巻線に傷、洗油および水をつけないよう十分注意してください。

●製品や付属品の保管

使用しない製品や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

- 注**
- お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所には保管しない。
 - 軒先など雨がかったり、湿気のある場所には保管しない。
 - 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所には保管しない。
 - 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所には保管しない。

ご修理のときは

この製品は、厳密な精度で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合は、決してご自身で修理をなさらないでお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにご依頼ください。

ご不明のときは、下記の全国営業拠点にご相談ください。また、部品ご購入の場合や取扱いでお困りの点などについても、ご遠慮なくお問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(N0.)などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号(N0.)
販売店 (TEL)				

全国営業拠点

■ 日立工機電動工具センターへのご用命は、下記の営業拠点にお問い合わせください。

北海道支店 TEL (011) 896-1740 (代) 〒004-0053 札幌市厚別区厚別中央3条1丁目2番20号
東北支店 TEL (022) 288-8676 (代) 〒984-0002 仙台市若林区卸町東3丁目3番36号
関東支店 TEL (03) 5783-0608 (代) 〒108-6020 港区港南2丁目15番1号(品川インターシティA棟)
中部支店 TEL (052) 533-0231 (代) 〒451-0051 名古屋市西区則武新町1丁目32番16号
北陸支店 TEL (076) 263-4311 (代) 〒920-0058 金沢市示野中町1丁目163番
関西支店 TEL (0798) 37-2665 (代) 〒663-8243 西宮市津門大箇町10番20号
中国支店 TEL (082) 504-8282 (代) 〒730-0826 広島市中区南吉島2丁目3番7号
四国支店 TEL (087) 863-6761 (代) 〒760-0078 高松市今里町1丁目28番14号
九州支店 TEL (092) 621-5772 (代) 〒813-0062 福岡市東区松島4丁目8番5号

「電動工具お客様相談センター」



0120-208822 (フリーダイヤル・無料)

※携帯電話からはご利用になれません。

(土・日・祝日を除く 午前9:00～午後5:00)

電動工具ホームページ—<http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/>



〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号(品川インターシティA棟)

国内営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)